

政策評価の結果概要

【政策の柱】

V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・取り巻く環境 ・現状と課題 	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/目標値 進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	・現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等 								
	構成する施策に関する 市民意識調査結果			<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策 													
機能的で魅力ある都市空間を形成する	<p>快適さ・便利さなどを備えた、魅力ある都市環境が整ってきていると感じている市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>H19</td><td>30.8%</td></tr> <tr><td>H21</td><td>34.0%</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>44.0%</td></tr> </table>	年度	割合	H19	30.8%	H21	34.0%	目標値	44.0%	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国では、H21年12月に「社会資本整備総合交付金」を創設し、地方に裁量の幅を持たせた「総合的な交付金制度」を構築 ・県では、H21年10月に「とちぎ未来開拓プログラム」を策定し、県財源の健全化を推進 ・本市では、H21年に市議会「都市基盤整備調査特別委員会」から、高齢社会・人口減少社会における都市基盤整備、宇都宮駅東・中心市街地の活性化に向けた都市整備について提言 <p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策指標は目標に向け着実に進捗 ・土地区画整理事業や市街地再開発事業の計画とおりの進捗、河内総合運動公園整備事業の早期完了 ・「地域特性に応じた土地利用の推進」、 「都市機能の適正配置と機能間連携の推進」、 「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」について、土地区画整理事業や市街地再開発事業等の引き続きの取組が必要 ・「緑と憩いの拠点づくりの推進」について、市民ニーズを十分に把握した、公園整備や適正配置等への取組が必要 ・「都市景観の保全・創出」について、景観形成重点地区等の指定拡大に向け、市民・事業者の景観意識の高揚が必要 <p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次都市計画マスタープランに基づき、ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた取組をさらに推進 <p>【重点施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」 宇都宮駅周辺地区の整備及び市街地再開発事業、小幡・清住地区の土地区画整理事業 ・「緑と憩いの拠点づくりの推進」 ワークショップ等による公園の整備・リニューアル、バランスある公園配置 ・「都市景観の保全・創出」 景観形成重点地区の指定に向けた取組 	1 地域特性に応じた土地利用の促進	地区計画導入地区数（地区）	21/24 87.5%	53.1%	13.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの改定。地区計画導入・地籍調査事業を計画的に推進 ・ネットワーク型コンパクトシティの実現化に向けた具体的な施策の構築が必要 ・地籍調査事業の調査面積拡大などによる地域特性を踏まえた拠点の形成が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区計画の導入計画の増加及び地籍調査事業の調査面積の拡大を図る <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地籍調査事業」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地区計画の導入に向けた説明会」 地元住民の協力を得る手法の検討
	年度	割合															
	H19	30.8%															
H21	34.0%																
目標値	44.0%																
	<p>優先して力を入れていくことが求められる領域 今後力を入れていくことが求められる領域</p> <p>見直し・効率化が求められる領域 重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域特性に応じた土地利用の推進」、 「都市機能の適正配置と機能間連携の推進」、 「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」について、土地区画整理事業や市街地再開発事業等の引き続きの取組が必要 ・「緑と憩いの拠点づくりの推進」について、市民ニーズを十分に把握した、公園整備や適正配置等への取組が必要 ・「都市景観の保全・創出」について、景観形成重点地区等の指定拡大に向け、市民・事業者の景観意識の高揚が必要 	2 都市機能の適正配置と機能間連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業の進捗率（整備面積：ha） ・都市計画道路の整備率（%） 	1,961.4/2,128.6 92.1%	54.6%	19.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業、市街地再開発事業を着実に推進 ・都市機能の高度化と生活環境の安全性・快適性の向上、ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた機能間連携の推進が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助制度を積極的に活用した計画的な事業執行、事業効果の早期実現に向けた事業推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「都市再開発事業」 ・「土地区画整理事業」 宇都宮駅周辺地区、小幡・清住地区など <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「都市再開発事業」「土地区画整理事業」における機能間連携の推進 								
		<p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次都市計画マスタープランに基づき、ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けた取組をさらに推進 	3 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成	人口集中地区（DID）人口（人）	377.045/390,000 96.7%	55.9%	16.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特性を踏まえた新たな地域拠点の形成を推進 ・まちづくりに対する意識の高揚、地域特性に応じた土地利用の検討を推進 ・社会情勢の変化・市民ニーズの多様化に迅速に対応できる仕組みづくり、構想・計画の策定など初期の段階から市民が参画できる機会の創出が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業等の積極的活用や、民間プロジェクトの誘導・支援により、多様な魅力を備えた拠点を形成 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化に向けた「市街地再開発事業」「宇都宮駅周辺地区の整備事業」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに対する新たな支援手法の検討 								

政策評価の結果概要

【政策の柱】

V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/ 目標値 進捗状況(%)	施策 重要度	施策 満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策							
機能的で魅力 ある都市空間 を形成する			4 緑と憩いの拠点 づくりの推進	・市民1人当たりの公園 面積 (㎡/人)	10.48 /10.4 6	67.0%	32.0%	・市民1人当たりの公園 面積の目標達成 ・公園バリアフリー化の 着実な推進 ・バランスある公園配置 を図る仕組みの見直しが必要 ・地域や市民ニーズ等を 捉えた公園整備、既存公 園のリニューアルが必要 ・市民協働による管理運 営の推進が必要	【今後の考え方】 ・本市を取り巻く環境の 変化に対応しながら、市 民に親しまれる魅力ある 公園づくりに取り組む 【重点事業】 ・「身近な生活圏の公園 整備」 ・「公園のバリアフリー 化」 【見直し事業】 ・「バランスのある公園 配置推進に向けた手法の 検討」 ・「市民協働による管理 運営の推進」
			5 都市景観の保 全・創出	景観形成重点地区等の指 定地区数 (地区)	15/31 48.4 %				

政策評価の結果概要

【政策の柱】

V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	・取り巻く環境 ・現状と課題	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/ 目標値	重要度	満足度	・現状と課題	・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策		進捗状況(%)					
2 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	<p>自動車や公共交通で市内を移動する際に、便利で快適であると感じている市民の割合</p>	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国では、国民の移動権を保障する「交通基本法」の制定に向けて動き出し。また、地方自治体の創意工夫による交通体系整備に向け「社会資本整備総合交付金」制度を構築 本市では、各種懇談会から、公共交通の利用環境や、自転車走行環境の整備の充実を望む意見。また、H20年6月市議会で、「道路特定財源の一般財源化後の対応」と「都市計画道路の整備方針見直し」に関する質問 	1 公共交通ネットワークの充実	1日当たりの路線バスの利用者数(人)	39,339/45,000 87.4%	74.7%	25.8%	<ul style="list-style-type: none"> 市内のバス路線維持、地域内交通の導入のための地域検討組織の設置 公共交通ネットワークの構築、「都市交通戦略」の推進が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者増に向けた取組や交通ネットワークへの理解促進のため、市民・事業者・行政が役割分担のもと連携して推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「本市まちづくりや公共交通のあり方についての市民理解の促進」 「地域内交通導入の積極的支援」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ユッピー号運行事業」地域の実情にあった生活交通の確保について検討
		<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「道路ネットワークの充実」における都市計画道路の整備、「ひとや環境にやさしい交通環境の整備」におけるノンステップバスの導入に関し、地域住民や事業者等との連携による取り組みが推進 「公共交通ネットワークの充実」と「道路ネットワークの充実」において、本市のまちづくりの考え方や公共交通のあり方についての市民理解のさらなる促進が必要 	2 道路ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備率(%) 都市計画道路の未整備延長(km) 	66.2/66.2 100%	56.7%	33.6%	<ul style="list-style-type: none"> 今後も各道路の機能や役割に応じた効果的な整備とともに、「道路見える化計画」の中での成果などの公表が必要 今後も補助金等の効果的・効率的活用を図りながら、計画的な整備の推進が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 費用対効果や緊急性などを十分に考慮し、各事業が相互に連携した計画的な道路整備を推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「整備効果の高い路線や区間の整備」 「今後の道路整備の基本方針を策定」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「各個別路線での更なる見直し、選択と集中」
	<p>1.公共交通ネットワーク ◆ 2.道路ネットワーク ▲ 3.交通環境 ●</p>	<p>【今後の取組方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク型コンパクトシティの実現に向け、公共交通ネットワーク整備と道路ネットワーク整備の連携を図るとともに、ソフト事業も効果的に組み合わせ、各種施策事業を戦略的に実施 <p>【重点施策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「交通戦略推進事業」「東西基幹公共交通(LRT等)の導入」の推進(公共交通ネットワークの必要性などの市民理解の促進) 「各種施策事業と連携した、公共交通空白地域及び不便地域の解消」 	3 ひとや環境にやさしい交通環境の創出	ノンステップバスの導入率(%)	24.4/30 81.3%	76.6%	26.6%	<ul style="list-style-type: none"> ノンステップバスの導入促進、「(仮称)自転車のまち推進計画」策定に向けた基礎調査・事業検討の実施 自転車の利活用の具体的な利便性向上策の展開が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民や事業者の環境意識の高揚とともに、交通環境のバリアフリーを推進 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「(仮称)自転車のまち推進計画策定」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ノンステップバス導入」今後の方向性など検討

政策評価の結果概要

【政策の柱】

V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために

全施策平均 66.7%
全施策平均 24.9%

政策名	政策の指標 (総合計画に掲げている指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・取り巻く環境 ・現状と課題 	施策名	施策の指標 (上段：総合計画の指標) (下段：任意の指標)	実績値/目標値 進捗状況(%)	施策重要度	施策満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等 								
	構成する施策に関する 市民意識調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた今後の取組方針 ・重点的に取り組むべき施策 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後の取組の考え方 ・重点的に進める事業 ・見直しを図る事業等 													
3 高度情報化の恩恵を享受できる環境づくりを推進する	<p>日常生活で、情報通信機器を活用し、便利に暮らしていると感じている市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合</th></tr> <tr><td>H19</td><td>54.5%</td></tr> <tr><td>H21</td><td>47.9%</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>62.0%</td></tr> </table>	年度	割合	H19	54.5%	H21	47.9%	目標値	62.0%	<p>【取り巻く環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの急速な進展に伴い、それらを活用した市民サービスの向上や地域産業の活性化が求められている ・国では、電子自治体クラウドの実現やASP等の企業での普及等を促進 ・本市では、「市内企業におけるICT利活用の実態調査」において、ICT導入に対する資金の低利融資や税制面での支援、電子商取引に関する研修・講習などの支援策を求める回答が多い 	1 市民生活の情報化の推進	本市のブロードバンド回線利用に占める光ファイバーの割合 (%)	—	61.9%	31.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話やパソコンなど、情報通信機器の導入が伸展 ・市民にとってより身近なICTの利活用方策の推進が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第2次宇都宮地域情報化計画」に基づく取組の着実な実施とともに、新たな情報化施策事業の掘り起こしなど内容充実 <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「汎用受付システムの活用促進」の充実 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設案内地図システム」の今後のあり方検討
	年度	割合															
H19	54.5%																
H21	47.9%																
目標値	62.0%																
<p>優先して力を入れていくことが求められる領域 今後力を入れていくことが求められる領域 見直し・効率化が求められる領域 重点的な取組が一段落したと考えられる領域</p> <p>1.市民生活の情報化 ◆ 2.地域産業の情報化 ▲</p>	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民生活の情報化の推進」において、公共施設予約システムの稼働や総合スポーツサイト「u-sports」の開設などにより、ICTを活用した市民サービスの向上を着実に推進。また、携帯電話普及率は中核市41市中1位 ・「地域産業の情報化の推進」において、施策指標が既に目標値を上回っているが、満足度・重要度ともに低い状況にあることから、企業のニーズに応じた新規事業の掘り起こしを行うなど、重要度や満足度を上げるための取組の強化が必要 	2 地域産業の情報化の推進	企業等における電子商取引の普及率 (%)	70/60 116.7%	44.0%	19.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・企業におけるICT利活用について目標値を上回った普及 ・資金面での支援など、企業のニーズに即した新たな取組の検討が必要 ・企業のICT利活用の効果的・効率的支援が必要 	<p>【今後の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業のニーズに応じた、情報化推進に資する新規拡充事業の掘り起こし <p>【重点事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「企業実態調査結果を踏まえた効果的な支援策の検討」 <p>【見直し事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「求職者のためのパソコン講座」他で同様の事業を実施していることによる廃止 									